



旭区

# 介護相談員だより



平成25年2月 第9号

事務局 旭区鶴ヶ峰1-4-12 旭区役所福祉保健センター高齢・障害支援課内  
電話 045-954-6061

旭区では区内17施設、16人の介護相談員が各施設で活動を行っております。今回は介護相談員の活動をより知っていただくために、介護相談員の活動の中で実感した施設の変化や改善した事例をご紹介します。また介護相談員の活動の一日の流れも併せてご紹介いたします。

## ☆介護相談員活動から改善に繋がった事例☆

○掲示物の位置が高く、車椅子の利用者の方が見づらそうでした。

⇒掲示物の位置が見やすい位置に変更されました。

○食事の席からトイレが見えていました。

⇒食堂とトイレがパーテーションで仕切られ、見えなくなりました。

○車椅子のブレーキが壊れていて危険だと感じました。

⇒介護相談員の意見により、すぐに別の車椅子に替えていただきました。

○荷物が高い場所においてあり、落下の危険性を感じました。

⇒荷物が撤去され、落下の危険が回避されました。

○高さが画一だったテーブルが利用者ごとに調節されたものになりました。

○職員の言葉遣いが改善され、利用者から「嬉しかった」と言っていただきました。

○利用者への呼び方が「ちゃん」から「さん」に変わりました。

○相談員の報告によってケアプランの見直しが行われました。

○介護相談員が施設の対応の改善を伝えたことで仕事に自信をもって取り組めるようになったと言われました。



## ☆介護相談員の一日の例☆

午前	10時	施設職員と打ち合わせ
	10時20分	一般階・認知階、訪問
午後	12時	利用者の方と一緒に昼食
	12時30分	活動再開
	13時30分	施設職員と活動内容の共有・意見交換
	14時	活動終了



## ～施設紹介～

ほほえみの郷横浜 施設長

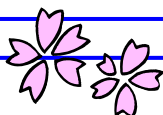
「ほほえみの郷横浜」では平成24年の9月から介護相談員さんが訪問してくださっています。介護相談員さんが報告してくださった内容を会議でお伝えするとともに、報告書を社内メールで発表しています。励ましと評価、そして時には厳しいご指摘をいただくことが職員にとっては、改めて振り返りの機会をいただき、向上心やモチベーションに繋がっています。介護相談員の方にはあえて「素人の目」で見えていただき、ご指摘を参考にしています。

介護相談員 下田智美

介護相談員として活動をはじめてから、約半年が経ちました。介護相談員の活動は慣れないことばかりで、訪問の度に反省と試行錯誤を繰り返しながら活動をしています。職員の方が丁寧な笑顔でご利用者さんたちに接している姿をみると、とても暖かい気持ちになりうれしく思います。時には、介護相談員として難しさを感じることもあります。少しでもお役に立てるように活動していきたいと思っています。



サニーヒル横浜 施設長



私たちの施設は、平成24年9月から介護相談員の方に来ていただくようになりました。介護相談員の方に来ていただいてから、ご利用者はいろいろお話する機会ができ、またご家族からのご相談も受けていただいております。さらには職員では気づかないような日常生活の中での疑問点や問題点などもいろいろと教えていただき、それらを職員で話し合うことで、より良い施設作りに役立たせていただいています。これからも、職員とは違った視点で施設を見ていただければと思います。

介護相談員 吉岡信子

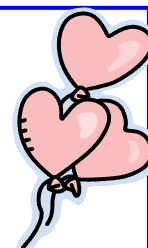
農地と住宅の混在する場所にある日あたりの良い新しい施設です。昨年9月より訪問しはじめて、5ヶ月がたちました。私にとっても初仕事となります。私たち相談員を受け入れ、当初は施設も「構えた感」がありましたが、今では職員の方とも利用者さんとも、リラックスしてお話しが聞けるようになりました。先輩相談員の方の「目の付け所」が違うなど感心しつつ、この施設がより良くなる為のお手伝いができることを願っています。

## 新任介護相談員の紹介



吉岡 信子 担当：サニーヒル横浜・希望の森

下田 智美 担当：ほほえみの郷よこはま・かわいの家



## 編集後記

介護相談・地域づくり連絡会は「全国介護相談員活動調査」を3年ごとに実施しています。平成12年度の介護相談員派遣事業の創設から12年をへて、相談員の活動に、介護サービスの質の向上、サービスの適正化に着実な成果を積み上げています。役立つ助言のトップは「介護相談員からの助言」となっており、53.6%という派遣先調査結果が出ています。「地域づくりの担い手」としての役割を果たすことがますます期待されていることが伺えます。

